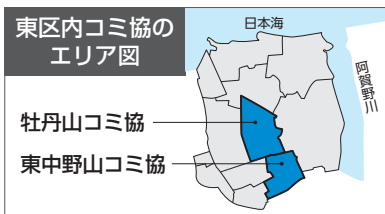


トーク(得)  
**東区する  
コミ協  
情報**

地域コミュニティ協議会(コミ協)は、地域における課題を解決するため、地域で主体的な取組のもと結成された組織です。概ね小学校区を単位とし、自治会・町内会を中心に、地域のさまざまな団体等で構成され、東区内には**12コミ協**が活動しています。

今回は地図にある2つのコミ協を紹介します。



**牡丹山小学校区コミュニティ協議会 会長 藤田 博**

**書道パフォーマンスを開催**

当コミュニティ協議会の主催で平成28年1月16日に、東区役所南口エントランスホールにおいて、新潟東高校書道部による書道パフォーマンスを行いました。バックミュージックをかけ、掛け声に合わせてたっぷりと墨を吸った大きな筆が動くと、力強い書き初めができました。今年は2回パフォーマンスが行われ、訪れた皆さんが満足しました。また、区役所地下ではビンゴ大会も開催され、大いに盛り上がった一日でした。



その他、当コミュニティ協議会では南口エントランスホールを使い、「健康教室」や「ウォーキング大会」を行っています。今後も区役所を利用したにぎわいづくりを目指します。



**東中野山小学校区コミュニティ協議会 会長 小林 政衛**

**子どもの笑顔は地域の宝、笑顔と元気があふれる地域づくり**

当コミュニティ協議会教育文化部と「ふれあいスクール」の活動で秋のイベント「新聞紙エアードーム」造りを行い、子どもたちはドームの中で楽しく遊びました。



また、気持ちの良い健康づくりを目的に遊歩道の草刈を、毎年春・秋の2回行っています。草刈は市庭球場～東中野山小学校～東石山中学校～若葉町境橋までの本所排水路両脇1.6kmの範囲で行っています。今年の秋は250名の参加者で実施しました。



草刈をすることで、散歩・ジョギング・通学をする方に気持ち良く利用していただいています。

**そうなんだ!  
東区について知るクイズ**

**正解発表**



**答え**

- ①つややかな白さと甘さが特徴の(ア: **やわ肌**) ねぎは下山地区が特に有名な産地です。
- ②かわいらしくてみずみずしいイチゴ(ウ: **越後姫**)は木戸・石山地区が主な産地です。
- ③大形地区は昔から(イ: **ばれいしょ**)の産地で、生産量は新潟県内一です。
- ④東区にある2つの大きな交通の玄関口は(イ: **新潟西港、新潟空港**)です。

第5号に掲載した上記のクイズには区民の皆さまから35通の回答をお寄せいただきました。いただいた広報紙へのご意見を、今後の紙面づくりの参考にさせていただきます。

ぬたりん文房具セットは、応募いただいた方全員に郵送でプレゼントします。



**編集後記**

暮らしやすいまちづくりのために、東区自治協議会が取り組んできたことや協議会委員の声、現在地域で取り組んでいる活動等を区民の皆さまから知っていただくために、たよりをお届けしてきました。これからも、このたよりが皆さまの生活を豊かにする一助となるよう編集委員一同頑張っております。(大江 謙作)

じちきょうぎかいだより  
**東区自治協議会  
だより**

平成28年3月20日発行

**第6号**

発行者

新潟市東区自治協議会

事務局

〒950-8709

新潟市東区下木戸1丁目4番1号

東区役所地域課内

T E L : 025-250-2110

F A X : 025-271-8131

E-Mail : chiiki.e@city.niigata.lg.jp

**平成27年度 東区自治協議会提案事業  
「東区まちづくり実践塾」のまとめ**

東区自治協議会 会長 後藤 岩奈

今年度、東区自治協議会では、地域(区民)と行政(区)との「協働」をテーマとして「東区まちづくり実践塾」に取り組んできました。

たより第5号で特集したように、9月には「東区まちづくりフォーラム～みんなで考える東区の未来～」を開催し、前東区自治協議会会長の新潟県立大学山中知彦教授をはじめ、地域、福祉関係、民間企業、学生の方々に多くの現場の実例を挙げてお話しいたしました。



ワークショップの様子

10月の先進地視察では、長岡市の「アオーレ長岡」「長岡市民防災公園」「ながおか市民防災センター」を見学し、市民の目線に立った施設運営や実際に地震、水害など災害を体験された中から考え出された最新の防災システム、災害発生時の対応の工夫などを学びました。

フォーラムと視察の成果を振り返り、次年度の提案事業にどうつなげるかを協議するために、11月には委員によるワークショップの中で活発な意見交換を行いました。

また、1月には「新潟港将来構想」に地域としてどうかかわるかを学ぶための勉強会を、3月には相手のやる気や能力を引き出す技術である「コーチング」について学ぶセミナーを開催しました。

そのほか、2ページの各部会の振り返りにあるように、各部会が中心となり、普及啓発事業を行いました。

上記の事業には委員全員が総力を挙げて取り組み、また、その成果を『活動記録集』として、現在まとめています。そして、今年度に蓄積した知識や経験をもとにして、来年度はいよいよ「東区まちづくり実践塾」の「活動編」へと発展させていきたいと考えています。

# 各 部 会 の 活 動 を 振 り 返 っ て

## 第1部会（市民協働部門） 部会長 五十嵐 初司

今年度、全体事業として取り組んだ「東区まちづくりフォーラム」では、前会長で新潟県立大学の山中知彦教授を迎え、基調講演「区民協働～草の根まちづくりのすすめ～」を中心に有意義なフォーラムを開催することができました。自治協委員がひとつになれた貴重な事業でした。

また、昨年度に引き続き、7月に新潟県立大学生130名と、防災・福祉・産業のテーマに分かれてワークショップを行いました。今回は学生の立場から、「若者が考える東区のまちづくり」について率直な意見をいただき、地域と繋がりたいという学生の熱意を感じました。

さらに、11月には昨年度から各コミ協に配布している「災害時ひなん誘導看板」の検証作業を、山の下・大形・東中野山の3地区で行いました。当日は自治協議会委員の他、地域の方と新潟県立大学生が参加しました。検証作業後に行った意見交換会では、「看板の設置場所を探すのに苦労した」「看板の数が不足している」「検証にはもっと多くの地域の方が参加するべき」等の意見がありました。検証作業の結果を踏まえ、来年度の提案事業に活かしていきたいと思ひます。



検証作業後の意見交換会

## 第2部会（福祉・教育・文化部門） 部会長 吉田 信延



11月の秋晴れのもと、東区内をめぐる「東区の魅力発見ツアー」を2日に分けて開催しました。ツアー当日は普段目にするのでできない、薬師庵の「木造薬師如来坐像」や新潟空港バックヤードなども見学し、参加者に東区の宝をお伝えすることができました。

また、3月には第2部会が中心となって企画した「コーチングを学ぼう！心を動かすコミュニケーションセミナー」を開催しました。講師に、長谷川英輔氏（Coaching Lab 代表）を迎え、相手のやる気や能力を引き出すコミュニケーション技術である「コーチング」やそのベースとなる脳科学について学びました。

当日は、長谷川講師の優しい語り口での講演や、和やかな雰囲気のもと、参加者同士でのコミュニケーションワークが行われました。参加者の皆様には、職場や子育て、介護などの場面でセミナーの内容を活かしていただきたいと思ひます。



ワークの様子

## 第3部会（産業・環境部門） 部会長 西方 四郎

昨年度作成した冊子「東区内事業所の地域貢献活動情報集」の掲載内容について、さらに普及啓発するため、前期は、東区スペシャルサイト「ゲンキ魂」内に専用ページを立ち上げました。各事業所の最新情報を掲載していますので、是非ご覧ください。

また、9月に開催した「東区まちづくりフォーラム」のパネルディスカッションでは、第3部会からはパネリストとして一正蒲鉾株式会社に参加を依頼しました。地域貢献をしている企業の立場から参加いただき、より有意義なディスカッションになったと思ひます。

1月には、自治協委員向けに「新潟港将来構想についての勉強会」を行いました。新潟県の担当者の方から講話をしていただき、15年後、30年後の新潟港の姿を学ぶことができました。一方、地域や自治協として、どのように関わらべきかという課題も挙げられました。

引き続き、来年度も産業・環境部門として尽力していきたいと思ひます。



新潟港勉強会

# 今年1年を振り返って

～就任1年目の委員4名から今年度の活動の振り返りと、来年度の決意表明をしてもらいました～

### 宮嶋 晋

(大形地区コミュニティ協議会)



東区自治協議会をよく理解しないまま引き受けてしまったのは相変わらずの性格からで、当初は戸惑うばかりでした。第3部会を希望し、コミ協の会報を編集した経験から、広報紙編集部会にも手を挙げました。第3部会は産業・環境部門で間口が広く、安易に引き受けるものではないと反省していますが、自治協議会の役割が「区民と区との協働の要」であることから、「もう少し頑張らなくてはいけない。」と思う今日この頃です。

### 金胎 芳子

(新潟県立大学人間生活学部教授)



皆様、初めまして！新たな挑戦とも思いながら自治協委員に仲間入りさせていただきました。第1部会に所属し、更なる挑戦で未知との遭遇でした。いつも、びっくりぽん！の連続でしたが、中でも防災事業の一つで災害時ひなん誘導看板の検証作業で東区を歩いたことをきっかけに、一気に地域が身近となりました。そんなこんなで1年が終わろうとしていますが、次年度は、朝ドラの「あさが来た」も終わり、びっくりぽん！は通用しませんので、身になる活動を心がけ、自治の課題に取り組みます。

### 山田 久美子

(木戸小学校 地域教育コーディネーター)



今年度から自治協委員の仲間入りさせていただきました。第2部会という福祉と教育について考える部会に、地域と学校をつなぐ地域教育コーディネーターの立場で参加しています。その他に、ひまわりクラブの管理・運営や地域の茶の間の運営にも携わっております。自治協で様々なことを勉強させていただき、こちらからも発信しながら、これからも活動を続けていきたいと思ひます。

### 井上 貞男

(公募委員)



公募委員として参加させていただきました。第1回の会議から、出席者の活発な意見に圧倒されました。また、皆さんが真剣に東区の事を考えていると実感しました。産業・環境部門の第3部会委員と広報紙編集部会委員を務めました。来年度、第3部会では「公共交通空白地域における移動支援調査」に取り組みます。「協働」という言葉の意味を再考しつつ、皆さんの声をよく聞き、反映しながら活気あふれる東区の創出のために頑張ります。

## 私たちこんなことやっています！

Vol.2 「新潟市食生活改善推進委員協議会東支部」

食生活改善推進委員は、「私たちの健康は私たちの手で」をスローガンに活動しています。「減塩・ちょいしお生活」への声かけに始まり、区役所健康福祉課との共催でのメタボ予防などの健康増進普及講習会、東区内5小学校での「おはよう朝ごはん料理講習会」、シルバーピア石山での「ふれあいティールーム」、竹尾小学校での「笹だんご作り」、中地区公民館主催の調理実習などで講師をしています。



料理講習会や笹だんご作りの希望がありましたら、お声がけください。(安藤 美幸)